

金属類登録講習
原子吸光光度法分析
鉛(有機溶媒抽出)
実習レポート



着席番号 14

氏名 五十嵐 俊彦

指定講習実習レポート (鉛・抽出法)

実施期日：平成16年10月27日～ 月 日

II. フレーム式原子吸光光度法による鉛濃度の測定

測定対象物質 鉛

表3 フレーム式原子吸光光度計測定条件(抽出法)

使用機器型式	日立A2000	光源	Pb (HCS-70)	スリット (nm)	1.0	ガスタイプ	Air-C ₂ H ₂
ランプ電流 (mA)	3.4	燃料流量 (L/min)	0.5	測定モード	セキ7"ン		
測定波長	283.3 nm						

表4 分析実験報告(抽出法)

95ml → x 2

	吸光度	試料溶液 (MIBK10ml) 中の鉛濃度 (μg/ml)	試料溶液 (MIBK10ml) 中の鉛質量 (μg)	全試料溶液 50ml 中の鉛質量 (μg)	試料吸引 空気量 (L)	環境空气中 鉛濃度 (mg/m ³)	
標準系列	1	0.001	0	0	/	/	
	2	0.016	0.5	5			
	3	0.030	1.0	10			
	4	0.056	2.0	20			
	5	0.080	3.0	30			
未知試料	13	0.045	0.042 1.55	15.5	31.0	300	0.103
	14	0.043	0.040 1.45	14.5	29.0	300	0.097
	15	0.046	0.043 1.60	16.0	32.0	300	0.107
	16	0.044	0.041 1.50	15.0	30.0	300	0.100
	18	0.046	0.043 1.60	16.0	32.0	300	0.107
	ブランク	0.003	0.000 0.00	0.00	0.00		

検量線を作成すること。(縦軸：吸光度 横軸：標準系列の鉛濃度)
 環境空气中濃度の算出「未知試料」の計算過程を記入しなさい
 吸引試料空気流量 30L/min ×採取時間 10分間=300(L)より

検量線作成
T-m

m = 0.103
 ρ = 4.38 × 10⁻³
 better.

7/28/81
大至C記数に
下云

